

## 令和2年度北九州市立美術館運営評価 資料集

### 評価項目1：作品～資料収集・環境管理・保存～

#### (1) 収集活動の継続

令和2年度の取組み（目標）	①既存コレクションを充実・補完するため、所蔵作家の調査に基づいた作品・関連資料を収集する。 ②各企画展や「guest room」など、当館事業に関わる作家の調査に基づいた作品・関連資料を収集する。
---------------	---

#### ① 令和2年度 購入（1点）・寄贈（21点）作品の一覧表

##### < 購入 1点 >

No.	作家名	種別	収集目的
1	AKI INOMATA	映像1点	b

##### < 寄贈 21点 >

No.	作家名	種別	収集目的
1	AKI INOMATA	彫刻1点	b
2～3	國府理	彫刻2点	b
4	篠原有司男	素描1点	b, d
5～7	高橋秀	絵画2点、彫刻1点	b, c, d
8～17	野見山暁治	絵画10点	b, c, d
18～21	藤田桜	素描4点	b, d

※ 収集目的：

- a 自主企画展で展示   b コレクション展で展示   c 既存コレクションの充実  
 d 地元ゆかりの作家作品の充実   e その他

#### ② 各企画展や「guest room」など、当館事業にかかわる作家の調査に基づいた作品・関連資料

コレクション展Ⅲで特集した野見山暁治の絵画10点の寄贈を受けた。また昨年度「guest room」で紹介したAKI INOMATAの映像作品を1点購入し、彫刻作品1点の寄贈を受けた。

#### (2) 作品修復、作品保管環境の整備

令和2年度取組み（目標）	①緊急性の高い作品から順次修復を行う。 ②日常的に収蔵庫内の点検・清掃を行い、作品と保管環境の安全を確認する。
--------------	--

①-1 収蔵作品の保存状態チェック結果

内 容	作品数(点)
コレクション展出品作品の調査	248
自主企画展等出品作品の調査	273
作品貸出にともなう調査	20
合 計	541

①-2 修復作品

作家名	作品名	種別	制作年
マリーノ・マ リーニ	馬と騎手-I	版画	1972
ほか 浮世絵、版画 のマット装を新調			合 計
			143点

② 収蔵庫清掃作業

毎週1回、収蔵庫の清掃作業および保管環境の安全確認を行った。

(3) 美術資料・図書の一括管理

令和2年度の取組み (目標)	①作品データベースの資料作成、精査を行う。 ②図書データベースの資料作成、精査を行う。 ③作品・図書をよりよく運用するための整理を行う。
-------------------	--

① 作品データベースの整備

デジタル撮影した所蔵品画像や、作品の修復歴について、データベースに未入力のものを入力するなどした。コレクション展出品作品については、再調査した内容をデータベースに反映させた。

② 図書データベースの整備

図書データベースの整備にあたり、データ化されていない雑誌の在庫を確認し、データ入力を行った。また全国の美術館、美術大学等の年報、紀要等を配架している書棚を総点検し、配架図書の整理と重複図書の間引き、データ入力できていないものは入力を行った。

評価項目2：公開～調査研究・展覧会～

(1) 新鋭作家の継続的な紹介と評価

令和2年度の 取組み(目標)	①コレクション展における特集展示「guest room」第5回展、自主企画展「アートのなかのSF展」(東アジア文化都市北九州関連事業)を開催する。
-------------------	---

①-1 新鋭作家を紹介する展覧会の実施状況

展覧会名	会期	開催日数	入場者数 (人)
guest room 005 小野耕石	8月8日(土) ～10月18日(日)	62	6,089

※自主企画展「アートのなかのSF展」は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止となった。

①-2 所蔵作家等についての主な対面調査実績

調査内容	時期	調査地	調査目的
上川伸に関する調査	4月	福岡県直方市	c
重松希に関する調査	6月	福岡県宗像市	c
磯崎新に関する調査	6月	福岡市博多区	a, b, c
小野耕石に関する調査	7月、8月、 9月	千葉県船橋市、戸畑区	a
青柳喜兵衛に関する調査	7月、11月	若松区、東京都千代田区	c
わかやまけんに関する調査	8月	福岡県春日市	a
柳瀬正夢に関する調査	10月	埼玉県新座市	b, c
三沢厚彦に関する調査	10月、11 月	静岡県御殿場市、大阪市阿 倍野区	a
後藤愛彦に関する調査	11月	東京都中央区	c
森山安英に関する調査	12月	戸畑区	c
石井勢津子に関する調査	3月	東京都足立区、埼玉県川口 市	a
横尾龍彦に関する調査	3月	戸畑区、福岡市博多区	a, c

\* 調査目的

a 展覧会の開催 b 作品・資料等の収集 c 所蔵作家・作品の調査 d 教育普及

<参考> コレクション展

年度	特集テーマ	主な出品作家
令和 2 年度	① シュルレアリスムを感じる7つの要素 ② 現代アート・セレクション ③ 野見山暁治	① マックス・エルンスト ほか ② 草間彌生 ほか ③ 野見山暁治 ほか

<参考> 自主企画展等

年度	展覧会名	主な出品作家
令和 元 年度	①千住博展 日本の美を極め、世界の美を拓く ②日本画の革命児 堂本印象 1891-1975 ③にじいろのさかな原画展-マーカス・フィス ターの世界- ④ サイトウマコト 臨界-Criticality- ⑤ 高橋秀+藤田桜 素敵なふたり	① 千住博 ② 堂本印象 ③ マーカス・フィスター ④ サイトウマコト ⑤ 高橋秀、藤田桜
令和 2 年度	① フジフィルム・フォトコレクション展 日本 写真史をつくった101人「私の1枚」 ② ランス美術館コレクション 風景画のはじ まり コローから印象派へ ③ ことばとイメージ 巨匠たちと読む物語 ④ GIGA・MANGA 江戸戯画から近代漫画へ ⑤ 奇想の浮世絵師 歌川国芳～魅惑の演出スペ クタクル	① 上野彦馬ほか ② ジャン=バティスト・ カミーユ・コローほか ③ ジョルジュ・ルオーほ か ④ 葛飾北斎ほか ⑤ 歌川国芳

(2) 所蔵作家のアーカイブ整備、研究論文・口頭発表

令和2年度の 取組み(目標)	①自主企画展「アートの中のSF展」(東アジア文化都市北九州関連事業)「guest room」第5回展の開催にあたり、論文公開や口頭発表を行う。
-------------------	---

①-1 研究論文等の公表状況

論文等	発表者	発表媒体
「拡張する版芸術」	清田幸枝	『guest room 005 小野耕石 波絵—立ち上がる行為、積層する絵具』
「節解説」、「作家解説」、「作品解説」、「コラム2」	重松知美	図録『GIGA・MANGA 江戸戯画から近代漫画へ』
「ミュージアム・ミュージアム サイトトウマコト 臨界-criticality-」	奥田亜希子	『デ アルテ』36号

①-2 口頭発表等の状況

口頭発表等	発表者	場所
「北九州市立美術館 美術館建築デザインの巻」	那須孝幸	Youtube「武蔵・小次郎の文化施設道場破り」
「北九州市立美術館 コレクション紹介の巻」	那須孝幸	Youtube「武蔵・小次郎の文化施設道場破り」
「北九州市立美術館 コレクション展特集 鉄の巻」	落合朋子	Youtube「武蔵・小次郎の文化施設道場破り」
「北九州市立美術館 彫刻作品の巻」	落合朋子	Youtube「武蔵・小次郎の文化施設道場破り」
東田ミュージアムパーク・CCA連携講座「妖怪・幻獣学の現在」第2部	重松知美(インタビュー)	北九州市立自然史・歴史博物館
夢野久作と杉山三代研究会第8回研究大会 講演「画家・青柳喜兵衛と夢野久作—挿絵からのアプローチ」	重松知美	筑紫野市文化会館

①-3 研究内容に関する図録、冊子、解説カード等の作成状況

② 展覧会名・事業名	冊子	発行部数
guest room 005 小野耕石 波絵 立ち上がる行為、積層する絵具	小冊子 A5判16頁	1,500
ミュージアム・ツアー リーフレット	リーフレット 297mm×297mm	10,000

(3) 特色ある展覧会(コレクション展・自主企画展)の実現

令和2年度の取組み(目標)	①テーマの異なる3つのコレクション展(シュルレアリスム、現代アート・セレクション、野見山暁治)を開催する。 ②「アートの中のSF展」(東アジア文化都市2020北九州関連事業)で現代作家を紹介する自主企画展を開催する。
---------------	---

① コレクション展の開催状況

② 展覧会名	会期	開催日数	入場者数(人)
コレクション展Ⅰ 特集 シュルレアリスムを感じる7つの要素	5月16日(土) ～7月26日(日)	21	1,688
コレクション展Ⅱ 特集 現代アート・セレクション	8月8日(土) ～2月7日(日)	146	12,500
コレクション展Ⅲ 特集 野見山 暁治	2月20日(土) ～3月31日(水)	34	1,879
合 計		201	16,067

② 自主企画展等の開催状況

展覧会名	会期	会場	開催日数	入場者数(人)
フジフィルム・フォトコレクション展 日本写真史をつくった101人「私の1枚」	6月19日(金) ～7月26日(日)	北九州市立美術館分館	38	4,017
ランス美術館コレクション 風景画のはじまり コローから印象派へ	7月25日(土) ～9月6日(日)	北九州市立美術館	38	9,705
ことばとイメージ 巨匠たちと読む物語	9月5日(土) ～11月29日(日)	北九州市立美術館分館	86	3,431
GIGA・MANGA 江戸戯画から近代漫画へ	9月19日(土) ～11月8日(日)	北九州市立美術館	44	8,754
(TVQ 共催企画展) ショーンタンの世界展 どこでもないどこかへ	12月12日(土) ～1月31日(日)	北九州市立美術館分館	45	11,244
奇想の浮世絵師 歌川国芳～魅惑の演出スペクタクル	1月5日(火) ～2月28日(日)	北九州市立美術館	48	12,708
合 計			299	49,859

(4) 他館や他機関と共同企画の実施

令和2年度の取組み(目標)	<p>①「GIGA・MANGA」展(東アジア文化都市2020北九州関連事業)において、京都国際マンガミュージアム、すみだ北斎美術館、東北歴史博物館と共同で展覧会を企画する。</p> <p>②「アートの中のSF展」(東アジア文化都市2020北九州関連事業)において、北九州市漫画ミュージアム、北九州市立文学館とテーマを協同し同時開催する。</p>
---------------	--

①他館と連携した自主企画展等の開催結果

展覧会名	会期	会場	開催日数	入場者数(人)
GIGA・MANGA 江戸戯画から近代漫画へ	9月19日(土) ～11月8日(日)	北九州市立美術館	44	8,754
合 計			44	8,754

※自主企画展「アートのなかのSF展」は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止となった。

評価項目3：交流～教育普及・地域交流

(1) 学校と連携した学習プログラムの実施

令和2年度の取り組み(目標)	<p>① 市立小学校3年生を対象に「ミュージアム・ツアー」を実施し、対話型鑑賞を実践する。コロナウイルスの影響により、5月～8月に予定されていたツアーが中止。対象となる学校に改めて希望を募り、9月よりツアーを実施する。中止校については、再募集を行い、12月中旬から1月にかけて追加実施をする。</p> <p>② 感染症対策を鑑み、受入れ可能人数を60人以下とし、複数校での同時実施を取りやめとする。密集を避けるため、全体挨拶を取りやめ、事前学習用のDVDを配布。1グループの人数も8名から4名へと縮小し、学校が安心して参加できるようなツアーを実施する。</p> <p>③ 【評価指標】 ○参加校の満足度 ○実施状況(②のみ)</p>
----------------	--

① - 1 ミュージアム・ツアーの実施状況

	R2年度	R元年度
参加校	72校 (当初参加予定132校中止60校)	131校 (1校学校行事のため中止)
参加者数	3,890人	8,005人
	うち児童数 3,628人	うち児童数 7,537人
	うち引率者数 262人	うち引率者数 468人

① - 2 参加校の満足度(アンケート結果)

(1) 総評

学校アンケートから、「ミュージアム・ツアー参加について」の問いでは、回答があった65校中64校から満足またはやや満足との回答が得られた。やや不満と回答した学校は、展示室の鑑賞時間をしっかりとってほしいとの指摘だった。「子どもたちの反応」についての問いは65校すべてから満足・やや満足の回答を得た。このことから、好評だったといえる。

令和2年度は特別支援学校の来館がすべて辞退となったが、病弱児童の受入れや感覚過敏によるマスク着用が難しい児童などを想定し、感染症対策の方法を見直したい。

## (2) スタッフ・ガイドの対応

「美術館、ガイドへの評価」は、65校中64校から満足・やや満足との回答が得られた。やや不満と回答した学校は、前項での時間配分についての意見であった。「ガイドの対応について」の問いでは全65校が満足・やや満足と回答した。アンケートでは、ガイドスタッフの児童一人ひとりに合わせた声かけに対する高評価が得られたが、ガイドスタッフ間での経験の差が拡大していることが分かった。ガイド研修において求める内容が異なるため、経験年数に合わせた研修プログラムを考案する必要がある。経験の浅いガイドと経験を積んだガイドが各々の課題を達成できるような研修構成を考えたい。

グループの人数が8名から4名になったことで、児童一人ひとりの発言が多く、前年度と比較してより子どもたちに寄り添った声かけができていた。普段口数が少ない、また場面緘黙の児童も自分の意見を伝えてくれる場面も見られ、教員からも丁寧な声かけを評価する回答が多く聞かれた。しかし、グループの人数は減ったが、マスクの着用で表情が読みづらい、声が聞き取り難い場面があった。今後もマスク着用が続くことから、児童の目線や顔の動きなどに一層注意を傾ける必要がある。

## (3) 説明会・事前打ち合わせ

「事前説明（電話）」と「事前説明映像」に関してそれぞれ1校からやや不満との回答があった。電話での説明は年度初めに計画していたツアー開始時間と、感染対策後の開始時間が異なっていたため、変更前の時程で学校が到着してしまったことについてだった。学校、バス会社、それぞれに丁寧な説明が必要であった。映像に関しては、学校側の機器トラブルで音声流れないとの報告があった。

事前説明映像を用いることで、児童のツアーに対する期待感を大きく高めることができた。また、視覚的に情報が入ることで、美術館のルールを理解しやすいようだった。また、前年度の課題であった、教員へのマナー周知（結界越え、写真撮影等）も徹底でき、監視スタッフからの指摘も減少した。

## (4) 実施日時

「実施日」に関する問いでは、それぞれ1校よりやや不満との回答があった。意見は記述されていなかったが、12月の降雪日の実施であったため、天候が原因ではないかと推測される。追加募集校は12月から1月の実施であったため、天候に恵まれないツアーが多くあった。天候不良の際の対応等、学校への丁寧な説明や配慮が必要である。

市内の小学校において、短縮授業の実施、2学期制の導入などカリキュラムに変更があり、学校生活に沿ったスケジュールの変更を行ったところ、不満・やや不満の回答からは、ゆっくり鑑賞するために実施時間を延長したいという意見のみであった。

## ② - 1 鑑賞教室（※市教育委員会主催事業）、館内授業の実施状況

会場	月日	時間	学校名・学年	人数(人)
本館	8月9日	10:00~12:00	北九州市立引野中学校 美術部	21
本館	8月19日	10:00~15:30	福岡県立ひびき高等学校 美術部	14
本館	10月24日	13:50~15:20	九州大学工学部 建築学科	30
本館	10月28日	12:00~15:00	福岡県立公立古賀竟成館高校 PTA	30
分館	11月2日	12:30~14:00	北九州市立槻田中学校 2年生	110
分館	11月6日	10:00~14:00	北九州市立板櫃中学校 1年生	151
本館	11月27日	11:00~13:00	北九州市立今町小学校 3年生	32

分館	12月16日	10:00～11:30	福岡県立福岡工業高等学校 染色デザイン科 2年生	42	
本館	12月16日	13:30～14:40	福岡県立福岡工業高等学校 染色デザイン科 2年生	42	
本館	1月28日	12:10～14:00	北九州市立菅生中学校 2年生	145	
分館	1月28日	12:00～14:00	北九州市立菅生中学校 2年生	145	
本館	2月25日	9:30～11:30	北九州市立大蔵中学校 2年生	36	
本館	2月25日	13:45～15:30	北九州市立高見中学校 1年生	68	
本館	3月12日	9:30～11:00	北九州市立小倉南特別支援学校 高等部 2年生	26	
令和2年度合計				14回	892
令和元年度合計				32回	1,389

## ② -2 参加者の満足度

令和2年度は アンケート未実施。

### (2) 特色あるワークショップ・講演会の実現

令和2年度の取り組み(目標)	①各展覧会と連動したワークショップを行う。 ②各展覧会で講演会やギャラリートークを行う。 ③長期ワークショップ「ぬいかけの植物園計画室」を実施する。
----------------	--

#### ①-1 ワークショップ実施状況

月日	時間	会場	事業名	人数	
12月19日	14:00～15:00	オンライン	クリスマスカードを作ろう ②	8	
12月20日	10:00～11:00	オンライン	クリスマスカードを作ろう ③	7	
12月20日	14:00～15:00	オンライン	クリスマスカードを作ろう ④	4	
1月23日	14:00～14:45	オンライン	モネの《睡蓮》をじっくり見てみよう！②	2	
1月24日	14:00～14:45	オンライン	モネの《睡蓮》をじっくり見てみよう！④	4	
3月7日	10:00～10:45	オンライン	かたちとイメージ③	3	
令和2年度合計				6回	28
令和元年度合計				12回	231

① -2 コロナ禍における教育普及活動として、「おうちで楽しむ北九州市立美術館」を全5回企画し、ホームページに、ワークシート、塗り絵などをアップした。

掲載日時	事業名
4月30日	北九州市立美術館立体型紙模型・浮世絵塗り絵プレゼント
6月5日	ワークショップ紹介 アニマル型紙模型プレゼント
9月16日	美術館のお仕事紹介 コレクション展Ⅱ ワークシートプレゼント



10月23日	【特別展 GIGA・MANGA 江戸戯画から近代漫画へ】展覧会紹介 あそび絵クイズ
12月1日	美術の森公園紹介 探索ワークシートプレゼント

②-1 講演会の開催状況

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、行わなかった。

②-2 ギャラリートークの開催状況

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、行わなかった。

③ワークショップ「ぬいかけの植物園計画室」実施状況

月 日	時 間	会 場	事業名	人数
10月3日	14:00 ~ 16:00	各自自宅など	計画室①	3
10月10日	10:00 ~ 12:00	各自自宅など	計画室②	6
12月12・13日 12月19・20日	10:00 ~ 17:00	本館エントラ ンス	オフラインぬいもの 配布	25
1月16日	10:00 ~ 12:00	各自自宅など	オンラインぬいもの Zoomぬい① (Aコース)	11
1月16日	14:00 ~ 12:00	各自自宅など	オンラインぬいもの Zoomぬい② (Aコース)	9
1月17日	10:00 ~ 12:00	各自自宅など	オンラインぬいもの Zoomぬい③ (Bコース)	10
1月17日	14:00 ~ 16:00	各自自宅など	オンラインぬいもの Zoomぬい④ (Bコース)	8
2月7日	15:00 ~ 16:00	各自自宅など	休憩室①	2
2月27日	15:00 ~ 16:00	各自自宅など	休憩室②	2
3月7日	15:00 ~ 16:00	各自自宅など	休憩室③	3
3月13日	14:00 ~ 16:00	各自自宅など	計画室③	2
令和2年度 合計 11回				81
令和元年度 合計 4回				126

(3) ボランティア組織の運営

令和2年度の取組み (目標)	<p>①プロジェクト班、鑑賞サポート班、美術情報班の3班に分かれたボランティア活動を支援する。</p> <p>②(新規)ボランティアによる一般来館者向け鑑賞プログラムを実施する。</p> <p>③ボランティア活動を充実させるための研修・講義を行う。</p>
----------------	--

## ① 勉強会・各班活動

### 今年度の活動内容

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、昨年度末から活動休止が続いた。とくに、来館者やメンバー同士での会話が避けられないプロジェクト班と鑑賞サポート班は、年間を通じて活動を休止した。美術情報班は、入館時の検温、マスク着用や手洗いの徹底、活動人数の制限などの感染対策をおこなったうえで、美術関連記事のスクラップのみを10月末に再開した。しかし、2度目の緊急事態宣言をうけ、1月以降の活動は再び休止した。

美術館に集まって活動できないメンバーとの繋がりを維持するため、美術館の近況報告や美術に関する情報提供を目的とした、定期的なメール配信を試みた。今後は、メールやオンライン会議ツールなどを活用したりリモート勉強会なども検討していく予定である。

年月日	内容
10月31日	美術情報班活動
11月7日	美術情報班活動
11月14日	美術情報班活動
11月28日	美術情報班活動
12月5日	美術情報班活動
12月12日	美術情報班活動

## (4) 他館や他機関との連携

令和2年度の取組み(目標)	①北九州芸術劇場と連携し、コレクション展をテーマとした公演「モネ、逆さまの睡蓮」を行う。
---------------	--

### ① 北九州芸術劇場との連携

新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、中止となった。

## 評価項目4：広報～利用促進のための情報発信

### (1) 現代社会に対応したマーケティング、広報戦略

令和2年度の取組み(目標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 美術館に対する市民のニーズを把握するため、アンケート方法の見直しを行う。(出口調査、館外での実施など)</li> <li>② 美術館公式ツイッター又はフェイスブックの開設を検討する。</li> <li>③ 旅行会社等への積極的なPR活動に努める。</li> <li>④ インバウンド用パンフレットを積極的に活用する。</li> </ul>
---------------	--

#### ① アンケートの中止

・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からアンケートは中止した。

#### ② ツイッター、フェイスブック開設の検討状況

展覧会毎にツイッターの開設を行った。美術館公式ツイッター等の開設については、引き続き検討する。

ツイッターを開設した企画展	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ランス美術館コレクション 風景画のはじまり コローから印象派へ</li> <li>・GIGA・MANGA 江戸戯画から近代漫画へ</li> <li>・奇想の浮世絵師 歌川国芳</li> </ul>
---------------	--

	～魅惑の演出スペクトル ・ことばとイメージ 巨匠たちと読む物語 ・シヨーンタンの世界展 どこでもないどこかへ
フェイスブックを開設した企画展	なし

③ 旅行会社等へのPR活動状況

- ・令和2年度は、市民センター（生涯学習事業）に対しPR活動を実施したが、新型コロナウイルス感染症の影響から実際に実現したものはなかった。
- ・団体利用実績があるカルチャーセンターを、ポスターチラシ発送リストに追加し、展覧会ごとにPRを実施した。

④ インバウンド用パンフの活用

世界体操・新体操選手権北九州大会等の大規模大会に向けてインバウンドパンフの日本語版を作成した。

(2) 他館や他機関との連携

令和2年度の取組み（目標）	① 他館と連携した割引特典等の企画を実施する。 ② 美術館友の会会報誌による展覧会情報等の発信に努める。
---------------	---

① - 1 他館と連携した割引特典等の企画の実施状況

- ・フジフィルム・フォトコレクション展日本写真史をつくった101人「私の1枚」において、小倉昭和館と連携し出品作家のドキュメンタリー映画の上映のほか相互の割引特典などの企画を実施した。

① - 2 近隣美術館との交流・連携を図る。

館長連絡協議会	福岡県及び北九州市内の美術館・博物館で組織する館長連絡協議会において、交流・連携を深める。
福岡県博物館協議会	福岡県内の美術館・博物館で組織する福岡県博物館協議会において、交流・連携を深める。

② 美術館友の会会報誌（森の小経）の発行状況

発行日	特集
令和2年4月25日	フジフィルム展、院展、コレクション展Ⅰ
令和2年7月25日	ランス美術館展、コレクション展Ⅱ
令和2年9月25日	G I G A・M A N G A展、ことばとイメージ展、シヨーン・タンの世界展
令和3年1月5日	歌川国芳展、コレクション展Ⅲ

発行部数 1, 200部 × 4回 = 4, 800部

## 5 環境 ～快適なアメニティ空間の演出～

### (1) ミュージアム機能・設備の強化

令和2年度の取組み（目標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 警備、清掃、受付・監視等の現場会議を行う。</li> <li>② 老朽化に伴う事故を防止するため、建物（建築・設備・消防等）点検を徹底する。</li> <li>③ アネックス棟の整備計画を検討し、予算の確保に努める。</li> <li>④ 消費税の引き上げにあわせ、来館者サービス向上のためカード決済の導入について検討する。</li> </ul>
---------------	--

#### ① 現場会議の実施状況

令和2年10月、警備、清掃、受付・監視、設備委託事業者との現場会議を実施。来館者への対応、施設の不備状況の再確認、来館者への対応等について協議した。

#### ② 令和2年度 改修（修繕）工事実施状況

アネックス棟外壁タイルの補修工事、その他施設の不具合箇所について、優先順位に従い修繕工事を実施した。

工事名		金額（万円）
1	アネックス外壁改修工事	219
2	消防用設備不良箇所修繕工事	68
3	アネックス入口風除室改修工事	159
4	本館地下2階地下水排水路設置工事	30
5	昇降機補修工事	38
6	収蔵エリア入口エアカーテン設置工事	42
7	冷却塔改修工事	86
8	蒸気加湿器取替工事	30
9	展示室壁補修工事（定例）	253
10	その他修繕工事	52
合計		977

#### ③ 美術館友の会と連携してミュージアムショップの充実を図る。